

県産農産物の販路拡大に向けた保冷輸送がスタート

1 概要等

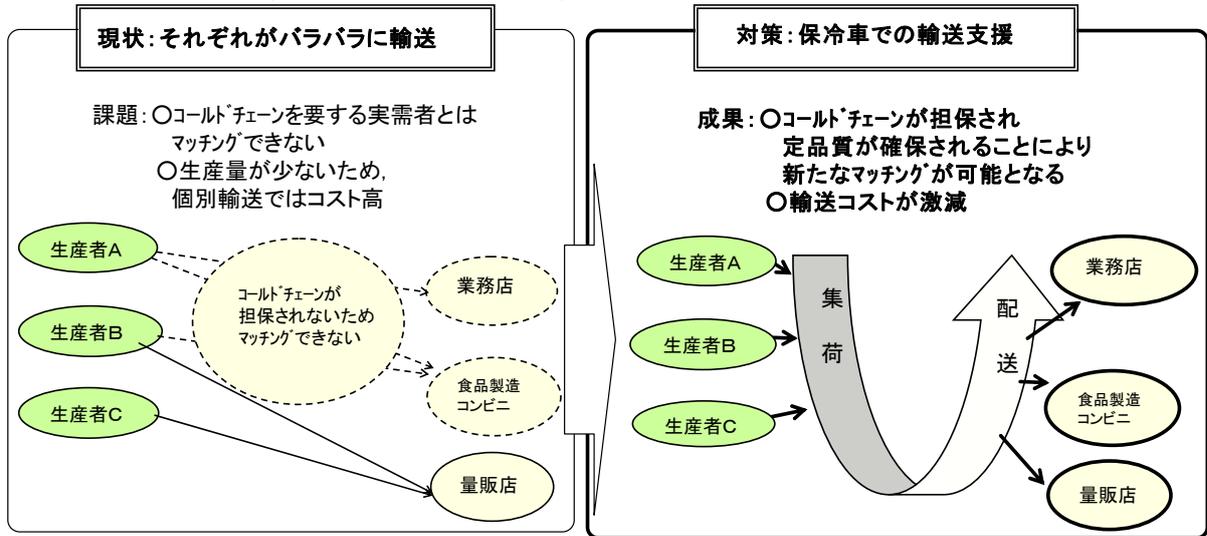
県では、担い手（生産者）の販売力の強化による所得向上や、県産農産物の販路拡大に向け、担い手と実需者とのマッチングによる契約取引を進めています。

しかし、生産者が個々に取引先に輸送した場合、輸送費が割高となるとともに、鮮度を重視する実需者の要望に応えられないため、販売先が限定されています。

このため、県は生産者の共同輸送による保冷輸送を5月7日からスタートさせ、マッチングによる契約取引の更なる拡大を図ります。

※マッチング：生産者と実需者との販売や取引の調整・仲介を行うこと

※契約取引：農産物の出荷前に、契約の相手方を予め決め、出荷を行う取引



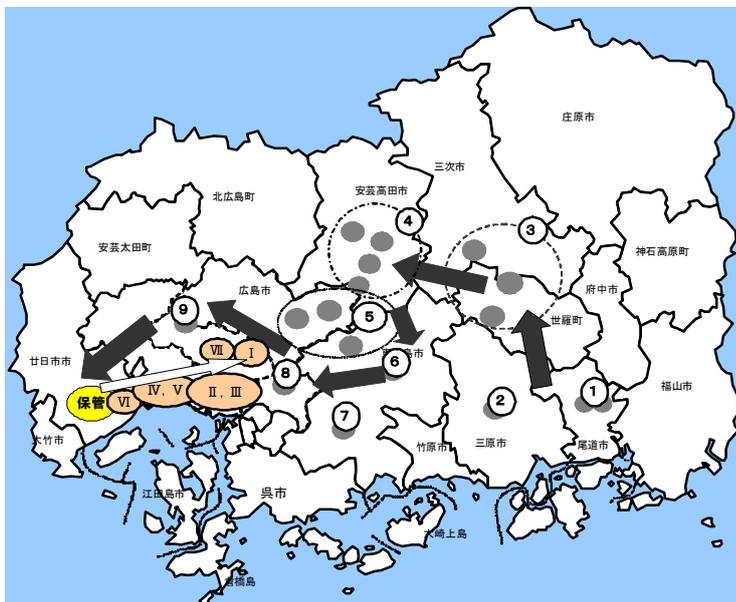
※生産者から実需者の間にJA、市場、問屋などが介在する取引もある

※コールドチェーン：野菜などの鮮度保持を目的に生産者から実需者まで一貫して冷蔵状態で輸送すること

2 実施内容

5月7日から開始する保冷輸送は、三原・尾道からスタートし、県内を順次集荷し、広島市内の実需者に配送します（アスパラガス、コマツナなどの薬物からはじめ、キャベツ、ホウレンソウなども順次取り組む予定）。

日曜、祝日を除く週6日、デイリーで運行します。



・ 県内を巡回する形で、9カ所程度の拠点を設けた生産者等からの集荷と、広島市内を中心とした、7事業者程度の配送を行う。

集荷 → 輸送支援トラックによる集荷（生産者→保冷库）
主な集荷場所：①～⑨

配送 ⇨ 輸送支援トラックによる配送（保冷库→実需者）
配送先：I～VII